令和6年度第1回香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会議概要

1 概要

日 時：令和6年11月18日（月）午前10時00分～12時00分

場 所：香美市役所 3階会議室

出席者：香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会委員 11名

企画財政課長、防災対策課長、定住推進課長、農林課長、商工観光班長、
教育振興課長、市民保険課長、福祉事務所、企画財政課員 2名

欠席者：委員 5名

2 自己紹介

3 副会長選任

副会長 吉村委員 了承を得る。

4 議題

- (1) 第2期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略における進捗状況及び取組について

事務局より【資料①】第2期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略における進捗状況及び取組について、【資料②】第2期総合戦略 評価（令和2年度～令和5年度）について説明

- (2) 香美市の人口動態について

事務局より【資料③】香美市の人口動態について説明

- ・産業別の年齢別、性別のデータはないのか？

→今回の会では用意できていない。

→中長期的な視点で人口問題をみるには、人口動態のデータだけでなく、産業別のデータ等、多様なデータを組み合わせて分析する必要がある。例えば、資料③の4ページに人口構成があるが、年齢構成が多い年代がどのような職業についているのか、地域の産業構造が変化していないかを分析する必要がある。

次の会までに用意してほしい。

→承知しました。

- ・資料③の17ページ、18ページをみると、50～55歳代が減少しているが理由はあるか。

→正確な分析はできていないが、人口構造が全体的にずれていると考える。また、その他の要因として考えられるのが、例えば工場の閉鎖等、産業構造の変化によ

り減少することも考えられることから、今後も分析が必要と考える。

(3) 次期総合戦略の策定に向けて

事務局より【資料④】次期総合戦略の策定に向けて、【資料⑤】具体的な施策と KPI の設定について説明

- ・産業の競争力強化について、次期総合戦略の具体的な事業をみると、第一次産業への事業施策が多く見受けられるが、本市の第一次産業の従事者や産業別付加価値額等の割合は決して高いものではないと考えられることから、効果的な施策かどうかを議論する必要がある。
- ・総合的な戦略の策定にあたっては、各個別の施策等について分科会を開き、各専門分野の方に意見を聴取して策定するのが望ましいのではないかと。
- 今年度中の策定を予定しており、国の動きと合わせて随時内容を更新し、国の交付金の確保等にも影響してくることから、分科会の開催はスケジュール的に難しい。
- ・香美市の主要産業には医療福祉、公務としての市役所や高知工科大学、そこに付随した公共工事、公共事業があげられる。今後、人口が減少し、高齢者福祉人口も減少すると、介護施設等の縮小が考えられるが、一定、香美市で長生きしていただける施策も考えていきたい。また、健康づくり支援については、ヘルスケア・イノベーションの活用といった新たなチャレンジにも手をあげている。
- ・香美市で就職している工科大学生は何名か。
- 香美市は把握できていないが、高知県内では 16%。
- ・高知工科大学と連携して新たな産業の創出を図ってほしい。
- 大学でも、ベンチャーまたはスタートアップ企業をどのように支援するか、広島大学を中心にコンソーシアムを組んで、学生に企業とかかわりをもってもらい、教育を充実させたり、四国銀行と連携してどのようにファンディングしたら良いか等の授業・活動を検討している。
- ・森林の多い香美市において、森林地域整備や、木材の搬出・利活用を行い、循環できる山づくりをすることは大事と考える。また、林業大学生については、来年度の入学生の確保が非常に大変であり、重要な一次産業の担い手となる人を、確保するような施策は必要と考える。
- ・現在、物部森林組合に就職される方は、他の業界や県外から就職してくれたりもするが、人材の確保には大変苦慮しているところであり、特に市場等の職員も不足している。また、所有者不明の山林等も多くあり苦慮している。
- ・デジタル化について、農業でのトラクターの自動運転や、林業分野での GPS 等の活用等が思い浮かぶが、今回の具体的な事業等に、デジタルの力をどのように活用しているかが見えてこない。
- 今後、デジタル技術を活用して、ドローンの活用や自動運転等の実証実験等にも取

り組んでいきたいと考えている。

- 地域地域に応じた魅力の発信や課題に応じた取組を総合戦略の KPI 等に盛り込んで欲しい。
- 婚活のイベントについて、年齢別での開催や、20代・30代が結婚についてどのように考えているか分析したデータがあるとよいと考える。
また、移住者については、30代が多いと思われることから、若い20代が転入する施策も大事と考える。
- 子育ての視点から、子育てを終えた方に、香美市の子育て環境についてアンケートをとるのはいかがでしょうか。
遊び場の確保や、高校進学時の通学の問題等が挙げられると考える。
- 市民の所得や、産業別の人口分布状況等のデータが欲しい。
- 職員が、企業や市民の方と交流ができる機会等を増やしてほしい。

次回の開催については、1月中旬を予定しているが、「新たな地方経済・生活環境創生本部」の設立等、国の新たな動きもみられることから、動向に注視しながら進めていく。